

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2032年6月4日まで（2017年7月13日設定）	
運用方針	サイバーセキュリティ株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の金融商品取引所に上場しているサイバーセキュリティ関連企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、サイバーセキュリティ関連企業とは、サイバー攻撃に対するセキュリティ技術を有し、これを活用した製品・サービスを提供するテクノロジー関連の企業等をいいます。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。 マザーファンドの株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーフンド	サイバーセキュリティ株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。  分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# サイバーセキュリティ 株式オープン（為替ヘッジあり）

第4期（決算日：2021年6月7日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、お手持ちの「サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジあり）」は、去る6月7日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## ファンドマネージャーのコメント

当期の運用において主眼をおいたポイントをご説明させていただきます。

### ■ポートフォリオ概況

当期、サイバーセキュリティ関連企業は概ね堅調に推移しました。当期中では景気循環銘柄への資金流入を受けて、堅調な企業業績にも関わらず一部セキュリティ関連銘柄や高成長銘柄は買い控えられる相場局面もありましたが、このような相場環境は通常継続しないと考えています。新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限が解除されつつあり、景気循環銘柄や割安銘柄の業績は2021年には堅調に推移すると思われませんが、2022年以降も継続する可能性は低いと考えています。世界中でサイバー攻撃が増加し、脅威が高まっており、セキュリティ・ソリューションへの投資拡大の緊急性は増えています。そのため、ポートフォリオのサイバー・セキュリティ関連企業は利益成長を着実に達成し、長期的に魅力的なパフォーマンスを提供できると考えています。

### ■運用のポイント

サイバー攻撃に対するセキュリティ技術を有し、これを活用した製品・サービスを提供するテクノロジー関連の企業への投資を行っています。銘柄選定に当たっては、セキュリティが脆弱な企業からの需要増加の恩恵を受ける企業をはじめ、IoT（モノのインターネット）やクラウド・コンピューティングなどの分野でのセキュリティ関連企業、サイバーセキュリティに関するコンサルティングサービスを提供する企業などに注目しています。

### ■運用環境見直しおよび今後の運用方針

新型コロナウイルスの感染拡大によって、デジタル化が大幅に進みました。競争力を維持するため、産業に関係なくすべての企業が経費削減や大幅な経営

効率化を追求しています。これにより、今後数年で、クラウドで保存されたデータをモバイル機器を通じてアクセスし、コネクテッド・デバイス（インターネットに接続された機器）で送受信するなど、データ容量の劇的な増加が予想されます。結果として、あらゆる規模の企業でセキュリティは最優先事項となるとみています。

デジタル化の加速と政府の規制強化により、サイバー・セキュリティ産業の持続的な成長機会が生まれています。サイバー・セキュリティへの支出は今後も継続して必要となり、このようなポジティブな要因によって、今後数年にわたり、サイバー・セキュリティ産業のリーダー的地位にいる企業は、魅力的な売上高成長を達成することができるとみています。テクノロジー関連株式は短期的にはボラティリティが高いものの、最終的には業績の伸びが長期的な株価上昇の牽引役となるでしょう。そこに十分な投資機会があると考えており、我々のリサーチ重視のボトムアップ・プロセスはこの投資テーマで作り出される価値を捉える最も効果的な手段であると考えています。



アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシー  
マネージング・ディレクター  
シニア・ポートフォリオ・マネージャー  
ウォルター・プライス

上記は、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			株組入比率	株式先物比率	純資産総額
		税分	込配	み金 期騰落 中率			
(設定日)	円		円	%	%	%	百万円
2017年7月13日	10,000		—	—	—	—	990
1期(2018年6月6日)	13,244		0	32.4	91.2	—	2,751
2期(2019年6月6日)	14,356		0	8.4	94.1	—	22,628
3期(2020年6月8日)	17,533		0	22.1	92.1	—	49,953
4期(2021年6月7日)	23,721		0	35.3	94.1	—	113,383

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
				騰	落		
	(期 首)		円		%	%	%
	2020年	6月8日	17,533	—	—	92.1	—
	6月末		17,730	1.1		91.8	—
	7月末		19,478	11.1		91.8	—
	8月末		19,854	13.2		91.8	—
	9月末		19,464	11.0		92.0	—
	10月末		19,572	11.6		90.5	—
	11月末		21,005	19.8		92.9	—
	12月末		23,566	34.4		91.1	—
	2021年	1月末	24,031	37.1		92.3	—
	2月末		23,241	32.6		93.4	—
	3月末		21,699	23.8		94.6	—
	4月末		24,059	37.2		93.9	—
	5月末		23,905	36.3		94.5	—
	(期 末)						
	2021年	6月7日	23,721	35.3		94.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第4期：2020年6月9日～2021年6月7日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第4期首	17,533円
第4期末	23,721円
既払分配金	0円
騰落率	35.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ35.3%の上昇となりました。

## ▶ 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

個別銘柄（CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - AやZSCALER INCなど）の株価上昇などが、基準価額の上昇要因となりました。

第4期：2020年6月9日～2021年6月7日

## 投資環境について

### ▶ 株式市況

当期のテクノロジーセクターの株価は、期を通してみると上昇しました。

米長期金利上昇への警戒感などから下落

する局面もあったものの、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融緩和姿勢や新型コロナウイルスワクチン接種の進展などが好感され上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジあり）

サイバーセキュリティ株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行いました。実質組入外貨建資産については対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

### ▶ サイバーセキュリティ株式マザーファンド

日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連企業の株式に投資を行いました。なお、当ファンドにおいて、サイバーセキュリティ関連企業とは、サイバー攻撃に対するセキュリティ技術を有し、これを活用した製品・サービスを提供するテクノロジー関連の企業等をいいます。

株式等への投資にあたっては、サイバーセキュリティの需要拡大および技術向上の恩恵を享受すると考えられる企業の株

式の中から、持続的な利益成長性、市場優位性、財務健全性、株価水準等を考慮して組入銘柄を選定しました。

銘柄選定に当たっては、セキュリティが脆弱な企業からの需要増加の恩恵を受ける企業をはじめ、IoTやクラウド・コンピューティングなどの分野でのセキュリティ関連企業、サイバーセキュリティに関するコンサルティングサービスを提供する企業などに注目しました。なお、株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託しています。

銘柄入替のポイントは、ソーシャルメディアプラットフォームのセキュリティ強化に多額の投資を行っていることなどを評価し、FACEBOOK INC-CLASS Aを新規購入しました。成長鈍化の懸念などから、VERINT SYSTEMS INCを全売却しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第4期
	2020年6月9日～2021年6月7日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	13,720

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶ サイバーセキュリティ株式オープン （為替ヘッジあり）

引き続き、サイバーセキュリティ株式マザーファンドを主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行います。実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

### ▶ サイバーセキュリティ株式マザーファンド

サイバーセキュリティ関連銘柄は、短期的に値動きが大きくなることがあるものの、個人・企業・国のサイバーセキュリティへの関心やテクノロジーの発展に伴う長期的な需要が見込まれ、同ビジネスを営む企業への投資妙味は大きいと見て

います。当ファンドの運用については、引き続き、サイバー攻撃に対するセキュリティ技術を有し、これを活用した製品・サービスを提供するテクノロジー関連の企業への投資を行います。銘柄選定に当たっては、セキュリティが脆弱な企業からの需要増加の恩恵を受ける企業をはじめ、IoTやクラウド・コンピューティングなどの分野でのセキュリティ関連企業、サイバーセキュリティに関するコンサルティングサービスを提供する企業などに注目しています。

株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。

2020年6月9日～2021年6月7日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	404	1.887	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(226)	(1.055)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(166)	(0.777)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(12)	(0.056)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	9	0.042	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(9)	(0.042)	
( 投 資 信 託 証 券 )	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	2	0.010	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(2)	(0.010)	
( 投 資 信 託 証 券 )	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	4	0.019	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(3)	(0.016)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(1)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	419	1.958	

期中の平均基準価額は、21,417円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

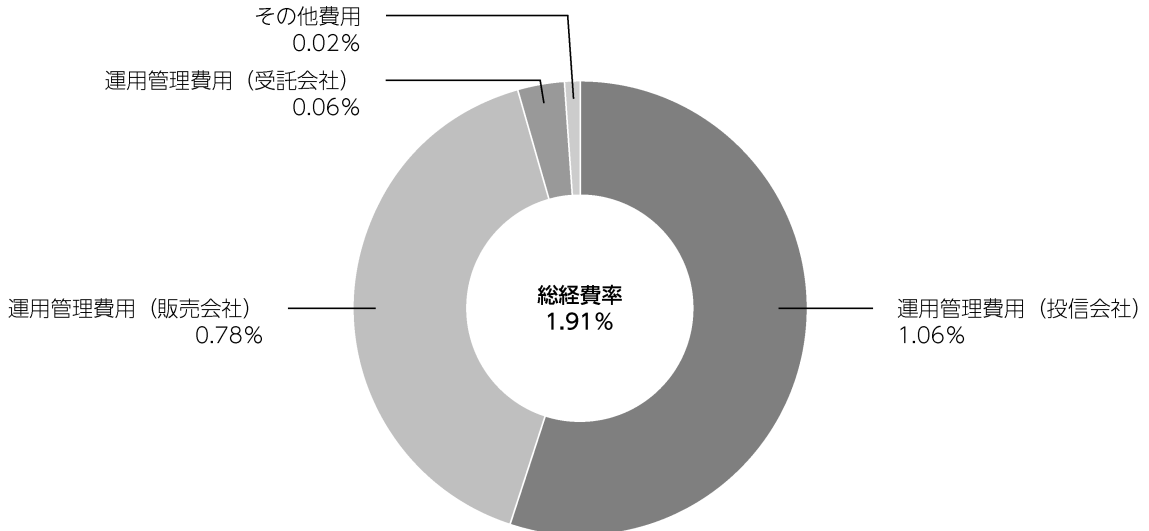
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.91%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年6月9日～2021年6月7日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
サイバーセキュリティ株式マザーファンド	26,922,703 千口	57,273,000 千円	11,244,766 千口	27,594,000 千円

## ○株式売買比率

(2020年6月9日～2021年6月7日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	サイバーセキュリティ株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	538,832,313千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	345,141,089千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.56

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年6月9日～2021年6月7日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジあり）&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等		
				C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 1,128,759	百万円 285,039	% 25.3	百万円 1,182,458	百万円 292,520	% 24.7

## &lt;サイバーセキュリティ株式マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等		
				C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 150,076	百万円 33,472	% 22.3	百万円 56,210	百万円 5,232	% 9.3

平均保有割合 26.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2021年6月7日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
サイバーセキュリティ株式マザーファンド	千口 25,490,981	千口 41,168,918	千円 110,555,014

## ○投資信託財産の構成

(2021年6月7日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
サイバーセキュリティ株式マザーファンド	千円 110,555,014	% 95.7
コール・ローン等、その他	5,021,481	4.3
投資信託財産総額	115,576,495	100.0

(注) サイバーセキュリティ株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(421,794,789千円)の投資信託財産総額(433,214,389千円)に対する比率は97.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.57円	1 イギリスポンド=155.21円	1 香港ドル=14.13円	100韓国ウォン=9.87円
------------------	-------------------	---------------	----------------

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年6月7日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	218,068,681,654
コール・ローン等	4,206,480,956
サイバーセキュリティ株式マザーファンド(評価額)	110,555,014,191
未収入金	103,307,186,507
(B) 負債	104,685,343,139
未払金	103,245,099,182
未払解約金	373,185,445
未払信託報酬	1,065,113,208
未払利息	3,102
その他未払費用	1,942,202
(C) 純資産総額(A-B)	113,383,338,515
元本	47,799,297,508
次期繰越損益金	65,584,041,007
(D) 受益権総口数	47,799,297,508口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,721円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 28,491,438,488円  
 期中追加設定元本額 45,159,845,212円  
 期中一部解約元本額 25,851,986,192円  
 また、1口当たり純資産額は、期末2.3721円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2020年6月9日～ 2021年6月7日
費用控除後の配当等収益額	417,851,020円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	19,261,390,100円
収益調整金額	41,583,592,380円
分配準備積立金額	4,321,207,507円
当ファンドの分配対象収益額	65,584,041,007円
1万口当たり収益分配対象額	13,720円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

- ③「サイバーセキュリティ株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の60以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## ○損益の状況（2020年6月9日～2021年6月7日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 411,282
受取利息	5,964
支払利息	△ 417,246
(B) 有価証券売買損益	21,512,915,719
売買益	35,954,027,632
売買損	△14,441,111,913
(C) 信託報酬等	△ 1,833,263,317
(D) 当期損益金(A+B+C)	19,679,241,120
(E) 前期繰越損益金	4,321,207,507
(F) 追加信託差損益金	41,583,592,380
(配当等相当額)	( 21,117,404,635)
(売買損益相当額)	( 20,466,187,745)
(G) 計(D+E+F)	65,584,041,007
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	65,584,041,007
追加信託差損益金	41,583,592,380
(配当等相当額)	( 21,138,322,720)
(売買損益相当額)	( 20,445,269,660)
分配準備積立金	24,000,448,627

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## サイバーセキュリティ株式マザーファンド

### 《第8期》決算日2021年6月7日

〔計算期間：2020年12月8日～2021年6月7日〕

「サイバーセキュリティ株式マザーファンド」は、6月7日に第8期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界の金融商品取引所に上場しているサイバーセキュリティ関連企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、サイバーセキュリティ関連企業とは、サイバー攻撃に対するセキュリティ技術を有し、これを活用した製品・サービスを提供するテクノロジー関連の企業等をいいます。 株式等への投資にあたっては、サイバーセキュリティの需要拡大および技術向上の恩恵を享受すると考えられる企業の株式の中から、持続的な利益成長性、市場優位性、財務健全性、株価水準等を考慮して組入銘柄を選定します。 株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
4期(2019年6月6日)	14,950		17.8	95.6	—	110,825
5期(2019年12月6日)	15,398		3.0	94.6	—	163,255
6期(2020年6月8日)	19,123		24.2	94.3	—	213,916
7期(2020年12月7日)	23,083		20.7	95.6	—	365,279
8期(2021年6月7日)	26,854		16.3	96.6	—	431,374

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額 騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	
						式 率
	(期 首)		円	%	%	
	2020年12月7日		23,083	—	95.6	—
	12月末		24,970	8.2	93.5	—
	2021年1月末		25,768	11.6	94.6	—
	2月末		25,339	9.8	95.7	—
	3月末		24,613	6.6	96.4	—
	4月末		27,011	17.0	96.4	—
	5月末		27,097	17.4	97.0	—
	(期 末)					
	2021年6月7日		26,854	16.3	96.6	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ16.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



## ●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

個別銘柄 (CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - AやALPHABET INC-CL Cなど) の株価上昇や、米ドルが円に対して上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎株式市況

- ・当期のテクノロジーセクターの株価は、期を通してみると上昇しました。
- ・米長期金利上昇への警戒感などから下落する局面もあったものの、米連邦準備制度理事会 (FRB) の金融緩和姿勢や新型コロナウイルスワクチン接種の進展などが好感され上昇しました。

## ◎為替市況

- ・当ファンドの主要投資先通貨である米ドルは対円で上昇しました。
- ・米国長期金利上昇による日米金利差拡大などから米ドルは円に対して上昇しました。



## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連企業の株式に投資を行いました。なお、当ファンドにおいて、サイバーセキュリティ関連企業とは、サイバー攻撃に対するセキュリティ技術を有し、これを活用した製品・サービスを提供するテクノロジー関連の企業等をいいます。
- ・株式等への投資にあたっては、サイバーセキュリティの需要拡大および技術向上の恩恵を享受すると考えられる企業の株式の中から、持続的な利益成長性、市場優位性、財務健全性、株価水準等を考慮して組入銘柄を選定しました。
- ・銘柄選定にあたっては、セキュリティが脆弱な企業からの需要増加の恩恵を受ける企業をはじめ、I o T（モノのインターネット）やクラウド・コンピューティングなどの分野でのセキュリティ関連企業、サイバーセキュリティに関するコンサルティングサービスを提供する企業などに注目しました。なお、株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託しています。
- ・銘柄入替のポイントは、ソーシャルメディアプラットフォームのセキュリティ強化に多額の投資を行っていることなどを評価し、FACEBOOK INC-CLASS Aを新規購入しました。成長鈍化の懸念などから、VERINT SYSTEMS INCを全売却しました。

## ○今後の運用方針

- ・サイバーセキュリティ関連銘柄は、短期的に値動きが大きくなることがあるものの、個人・企業・国のサイバーセキュリティへの関心やテクノロジーの発展に伴う長期的な需要が見込まれ、同ビジネスを営む企業への投資妙味は大きいと見ています。当ファンドの運用については、引き続き、サイバー攻撃に対するセキュリティ技術を有し、これを活用した製品・サービスを提供するテクノロジー関連の企業への投資を行います。銘柄選定にあたっては、セキュリティが脆弱な企業からの需要増加の恩恵を受ける企業をはじめ、I o Tやクラウド・コンピューティングなどの分野でのセキュリティ関連企業、サイバーセキュリティに関するコンサルティングサービスを提供する企業などに注目しています。
- ・株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年12月8日～2021年6月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	円 4 (4) (0)	% 0.016 (0.016) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	2 (2) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	2 (2)	0.009 (0.009)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	8	0.031	
期中の平均基準価額は、25,732円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年12月8日～2021年6月7日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 115,748 (18,531)	千アメリカドル 1,288,164 ( )	百株 168,662	千アメリカドル 1,219,352
	イギリス	9,469	千イギリスポンド 23,476	—	千イギリスポンド —
	香港	2,066	千香港ドル 128,358	5,709	千香港ドル 302,757
	韓国	2,911	千韓国ウォン 23,882,990	688	千韓国ウォン 5,614,446

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ EQUINIX INC	千口 3	千アメリカドル 2,200	千口 61	千アメリカドル 42,427

(注) 金額は受渡代金。

## ○株式売買比率

(2020年12月8日～2021年6月7日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	282,797,813千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	403,434,430千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.70

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年12月8日～2021年6月7日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 40,045	百万円 8,206	% 20.5	百万円 34,725	百万円 2,690	% 7.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2021年6月7日現在)

## 国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	金 額	株 数	評 価 額
情報・通信業 (100.0%)	千株	千円	千株	千円
トレンドマイクロ	1,145.1		1,145.1	6,252,246
合 計	1,145		1,145	6,252,246
株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1		1	<1.4%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## 外国株式

銘柄	株数	当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
CISCO SYSTEMS INC	2,442	23,264	125,792	13,783,114		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NORTONLIFELOCK INC	53,398	36,522	103,905	11,384,943		ソフトウェア・サービス
MICROSOFT CORP	4,454	9,794	245,644	26,915,217		ソフトウェア・サービス
VERINT SYSTEMS INC	6,311	—	—	—		ソフトウェア・サービス
CHECK POINT SOFTWARE TECH	1,322	1,390	16,688	1,828,513		ソフトウェア・サービス
AMAZON.COM INC	442	612	196,451	21,525,192		小売
VERISIGN INC	2,345	924	20,262	2,220,159		ソフトウェア・サービス
NVIDIA CORP	591	1,146	80,634	8,835,171		半導体・半導体製造装置
F5 NETWORKS INC	4,835	3,489	65,863	7,216,618		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
AKAMAI TECHNOLOGIES INC	3,186	3,045	35,367	3,875,192		ソフトウェア・サービス
APPLE INC	3,646	3,835	48,281	5,290,254		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ONESPAN INC	15,697	16,510	42,166	4,620,210		ソフトウェア・サービス
FORTINET INC	4,412	7,784	172,626	18,914,724		ソフトウェア・サービス
FACEBOOK INC-CLASS A	—	2,568	84,837	9,295,610		メディア・娯楽
SPLUNK INC	1,604	749	8,421	922,710		ソフトウェア・サービス
SERVICENOW INC	1,241	754	34,771	3,809,935		ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL C	839	882	216,443	23,715,749		メディア・娯楽
FIREEYE INC	62,040	37,699	71,327	7,815,398		ソフトウェア・サービス
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	3,522	481	10,535	1,154,352		小売
PALO ALTO NETWORKS INC	1,340	2,804	100,225	10,981,718		ソフトウェア・サービス
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	1,536	2,594	32,678	3,580,556		ソフトウェア・サービス
EPAM SYSTEMS INC	2,144	3,222	155,428	17,030,290		ソフトウェア・サービス
CDW CORP/DE	1,248	2,427	40,658	4,454,955		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
PROOFPOINT INC	5,597	5,887	102,409	11,220,960		ソフトウェア・サービス
ARISTA NETWORKS INC	2,508	1,482	51,938	5,690,895		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
TWILIO INC - A	2,952	3,105	96,237	10,544,786		ソフトウェア・サービス
FAIR ISAAC CORP	1,417	896	43,967	4,817,552		ソフトウェア・サービス
MIMECAST LTD	12,369	13,010	65,649	7,193,190		ソフトウェア・サービス
QUALYS INC	1,688	1,776	17,768	1,946,873		ソフトウェア・サービス
RAPID7 INC	2,648	2,785	23,101	2,531,188		ソフトウェア・サービス
VARONIS SYSTEMS INC	5,564	13,783	65,911	7,221,886		ソフトウェア・サービス
OKTA INC	9,443	9,953	212,368	23,269,265		ソフトウェア・サービス
SHOPIFY INC - CLASS A	—	160	19,297	2,114,467		ソフトウェア・サービス
SAILPOINT TECHNOLOGIES HOLDI	4,893	3,833	16,380	1,794,807		ソフトウェア・サービス
ZSCALER INC	14,141	10,315	191,660	21,000,261		ソフトウェア・サービス
TENABLE HOLDINGS INC	4,249	—	—	—		ソフトウェア・サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	19,318	14,271	295,337	32,360,132		ソフトウェア・サービス
BOOZ ALLEN HAMILTON HOLDINGS	3,759	—	—	—		商業・専門サービス
DATADOG INC - CLASS A	16,790	8,703	76,982	8,434,967		ソフトウェア・サービス
CLOUDFLARE INC - CLASS A	10,075	9,240	76,773	8,412,061		ソフトウェア・サービス
SNOWFLAKE INC-CLASS A	1,200	2,230	54,112	5,929,129		ソフトウェア・サービス
ASANA INC - CL A	—	10,100	39,582	4,337,096		ソフトウェア・サービス
PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	20,139	—	—	—		ソフトウェア・サービス
BOX INC - CLASS A	—	8,940	22,494	2,464,686		ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額	317,365	282,982	3,380,987	370,454,799	
	銘柄数<比率>	40	40	—	<85.9%>	

銘柄	株数	金額	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
			株 数	株 数	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス) COMPUTACENTER PLC	百株 7,782	百株 17,251	千イギリスポンド 46,476	千円 7,213,548		ソフトウェア・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	7,782 1	17,251 1	46,476 -	7,213,548 <1.7%>		
(香港) TENCENT HOLDINGS LTD	8,269	4,626	千香港ドル 282,879	3,997,092		メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	8,269 1	4,626 1	282,879 -	3,997,092 <0.9%>		
(韓国) SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	33,030	35,254	千韓国ウォン 289,788,866	28,602,161		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	33,030 1	35,254 1	289,788,866 -	28,602,161 <6.6%>		
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	366,447 43	340,113 43	- -	410,267,601 <95.1%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## 外国投資信託証券

銘柄	口数	金額	期首(前期末)		当 期 末		比 率
			口 数	口 数	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) EQUINIX INC	千口 85	千口 27	千アメリカドル 21,810	千円 2,389,752		% 0.6	
合 計	口 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	85 1	27 1	21,810 -	2,389,752 <0.6%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2021年6月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 416,519,848	% 96.1
投資証券	2,389,752	0.6
コール・ローン等、その他	14,304,789	3.3
投資信託財産総額	433,214,389	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(421,794,789千円)の投資信託財産総額(433,214,389千円)に対する比率は97.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.57円	1 イギリスポンド=155.21円	1 香港ドル=14.13円	100韓国ウォン=9.87円
------------------	-------------------	---------------	----------------

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年6月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	434,910,517,414
コール・ローン等	13,775,237,781
株式(評価額)	416,519,848,010
投資証券(評価額)	2,389,752,412
未収入金	2,040,036,883
未収配当金	185,642,328
(B) 負債	3,536,131,923
未払金	1,696,128,120
未払解約金	1,840,000,000
未払利息	3,803
(C) 純資産総額(A-B)	431,374,385,491
元本	160,637,802,544
次期繰越損益金	270,736,582,947
(D) 受益権総口数	160,637,802,544口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,854円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 158,247,848,725円  
 期中追加設定元本額 17,462,459,759円  
 期中一部解約元本額 15,072,505,940円  
 また、1口当たり純資産額は、期末2.6854円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	110,223,067,862円
サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)	41,168,918,668円
三菱UFJ国際サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)(FOFs用)(適格機関投資家限定)	4,469,396,672円
サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2,887,178,679円
サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	1,889,240,663円
合計	160,637,802,544円

## ○損益の状況 (2020年12月8日～2021年6月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,234,649,641
受取配当金	1,234,933,301
受取利息	4,091
支払利息	△ 287,751
(B) 有価証券売買損益	58,808,710,746
売買益	76,712,659,185
売買損	△ 17,903,948,439
(C) 保管費用等	△ 39,218,517
(D) 当期損益金(A+B+C)	60,004,141,870
(E) 前期繰越損益金	207,031,394,896
(F) 追加信託差損益金	27,556,540,241
(G) 解約差損益金	△ 23,855,494,060
(H) 計(D+E+F+G)	270,736,582,947
次期繰越損益金(H)	270,736,582,947

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。